

参天製薬株式会社

2006年3月期 中間決算説明会

2006年3月期 中間決算の概況 03-05中期経営計画の進捗状況

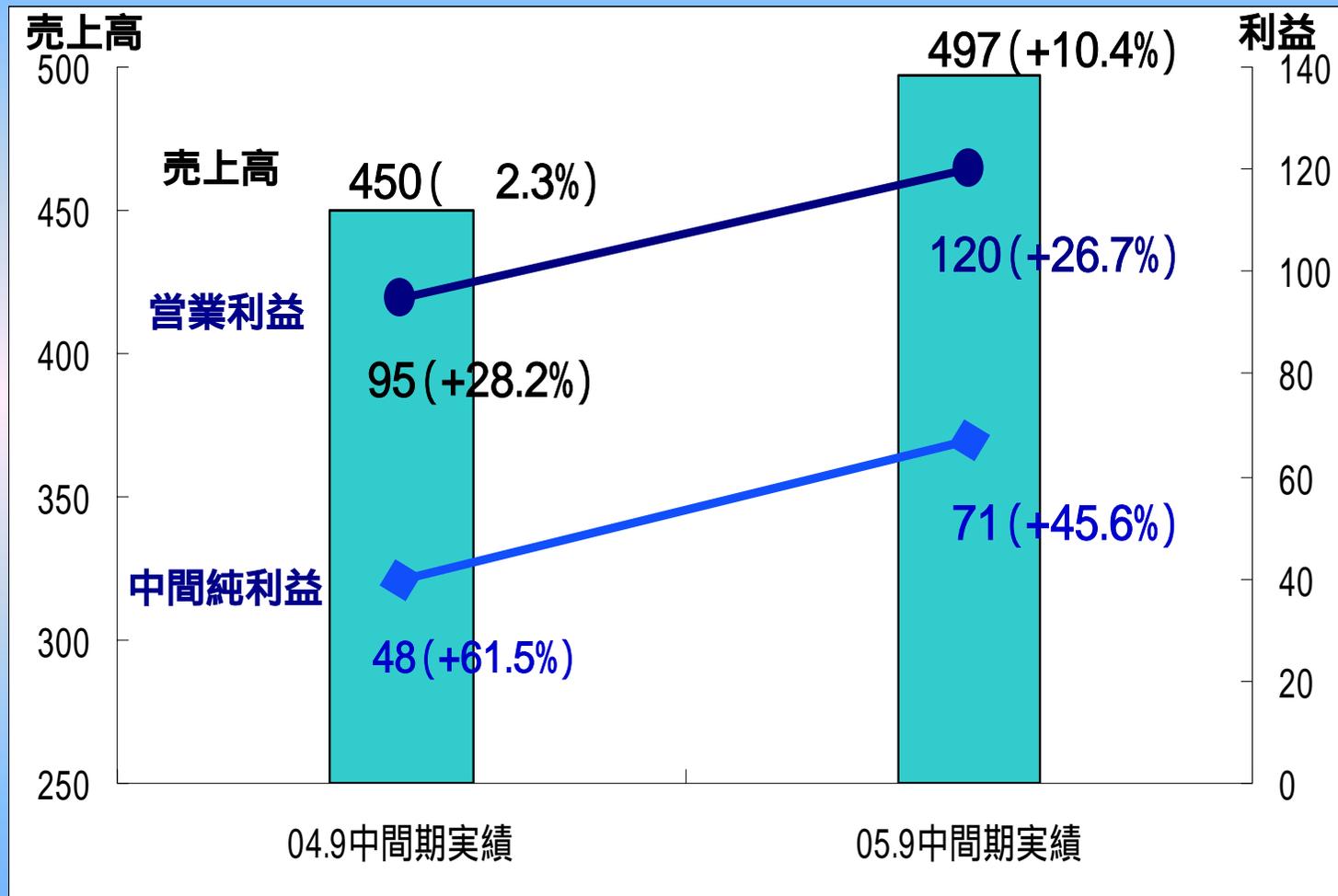
2005年11月2日

取締役社長 森田 隆和

(見通しに関する注意事項)この資料は参天製薬の戦略、計画、業績などに関する将来の見通しを含んでいます。この見通しは、現在入手可能な情報をもとにした当社経営者の判断に基づいています。従って実際の業績は、事業環境の変化、新薬の承認時期、為替レートの変動、行政動向など様々な要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

連結中間期実績

単位: 億円, %は対前年同期比



2005年9月 中間期 営業の概況

国内

- ・医療用医薬品

 - 眼科薬

 - 抗リウマチ薬

- ・一般用医薬品

- ・医療機器

海外

- ・米国

- ・欧州

- ・アジア

研究開発

主な新製品候補 (2005年11月現在、下線2005年5月以降進展)

1) シクロスポリン DE-076(導入)	春季カタル	免疫抑制	05年10月 承認取得済	-
2) 眼内レンズ MD-14(自社)		アクリル眼内レンズ	日本:04年8月申請済 米:臨床試験	-
3) タフルプロスト DE-085(自社)	緑内障 高眼圧症	プロスタノイドFP受容 体作動薬 ぶどう膜強膜流出促進	日本:P3 欧米:P3	申請予定: 06FY3Q
4) オルメサルタン DE-092(導入)	緑内障 高眼圧症	アンジオテンシン IIAT1 受容体拮抗薬 ぶどう膜強膜流出促進	日本:P2b 欧米:P2用量設定試験	申請予定: 08FY1Q
5) ジカフォソル テトラナトリウム DE-089(導入)	ドライアイ	P2Y ₂ 受容体作動薬 涙液分泌の促進	日本:P2b	申請予定: 08FY3Q
6) 一般名未定 DE-096(自社)	関節リウマチ <u>糖尿病黄斑浮腫</u>	TNF 産生阻害作用	日本:P2a	-

03-05 中期経営計画

基本方針

収益力の回復

研究開発力の強化

組織力の強化

重点課題

- 米国事業の早期収益化
- 費用削減の実施
- 国内収益基盤の維持・改善
- 新製品開発のスピードアップ
- 経営資源の重点配分による新薬候補化合物の充実
- コーポレート/ガバナンスの充実・強化
- 人材育成,組織マネジメント能力の向上

中期基本方針「収益力の回復」の進捗状況

	2004年3月期 実績	2005年3月期 実績	2006年3月期 実績・計画
米国事業の早期収益化			
1.米国眼科薬	03/12販売提携	黒字化 (研開発控除前)	継続
費用削減の実施			
2.製造原価	新容器本格導入 (点眼容器の使いやすさ向上と合わせて)	新容器へ切替え完了	追加策立案・実施 一部ライン統合 生産管理システム更新
3.営業オフィス改革	主要オフィス移行	全オフィス移行	全面的寄与
購買改革	電子購買システム導入	対象品目の電子購買化 が進行中	全面的寄与
業務サービス改革		改革策立案	物流を外部委託
国内収益基盤の維持・改善			
4.眼科事業リニューアル	MR活動支援システム 導入	トライアル開始と基盤改革	全面展開
5.薬粧事業		コスト構造分析と 改革策立案	改革実施

中期基本方針「研究開発力の強化・組織力強化」の進捗状況

	2004年3月期 実績	2005年3月期 実績	2006年3月期 実績・計画
研究開発力強化			
6.新製品開発の スピードアップ	臨床開発要員増強と プロセス改革 (緑内、角膜、抗リウマチ)	非臨床研究の スピードアップ (新方針策定済)	臨床開発5年非臨床 開発1.5年を達成 (優先プロジェクト)
7.新薬開発候補の 充実	有望なテーマに傾斜配分 眼科薬創薬機能を充実	次期臨床開発 候補品の充実 (緑内、網膜、 ドライアイ、炎症)	約1年後に2品目を 臨床に
組織力の強化			
8.企業統治機能の 充実・強化	社外取締役の選任 取締役の任期を 1年に短縮	継続	取締役会の強化 (社外2名、社内1名) 各種委員会再編・設置
9.人材育成・組織 マネジメント力の向上	リーダー開発プログラム継続	継続	継続

2006年3月期の見通し

単位: 億円, %は対前年伸び率

